

東京大学社会科学研究所・現代中国研究拠点「貿易班」2008年度国際ワークショップ

# 中国と東南アジアの経済関係

局地的経済協力と大メコン圏(GMS: Greater Mekong Sub-region)開発

\*古田元夫「日越関係の科研プロジェクト」協力

2008年11月11日(火) 午後1時から午後5時半

東京大学赤門総合研究棟 5F センター会議室(549号室)

使用言語は英語です (Language: English)

議事次第 司会 末廣昭・田嶋俊雄 (東京大学社会科学研究所)

午後1時～午後1時20分 (20分)

末廣昭 「問題提起:なぜGMSを取り上げるか？」

午後1時20分～午後2時00分 (40分)

第1報告「GMS: タイと雲南の経済交流」

ソムポップ・マーナランサン教授

(チューラーロンコン大学経済学部教授、中国研究所所長)

午後2時00分～午後2時30分 (30分)

第2報告「中国の各省と東南アジア、CLMVTとの貿易:World Trade Atlas 2007の分析から」

大泉啓一郎 (日本総合研究所)・宮島良明 (東京大学社会科学研究所)

午後2時30分～午後3時00分 (30分)

第3報告「日本の東南アジアFTA戦略と中国の南進」

助川成也 (日本貿易振興機構海外調査部)

午後3時00分～20分 ~~~~~ 休憩 ~~~~~

午後3時20分～午後3時35分 (15分)

コメント① 「日本の対インドシナ政策、ベトナム研究者の観点から」

白石昌也 (早稲田大学)

午後3時40分～午後3時55分 (15分)

コメント② 「ラオスの視点から」

鈴木基義 (広島大学)

午後3時55分～午後5時10分

質疑応答

午後5時15分 閉会の辞